

平成27年度公金運用の実績について

平成27年度の公金の運用実績を取りまとめましたのでお知らせします。

1. 全体

平成27年度			平成26年度		
平均資金残高	運用収入	平均利回り	平均資金残高	運用収入	平均利回り
31,632 百万円	36,512 千円	0.115%	36,592 百万円	38,411 千円	0.105%

平均利回りは微増しましたが、平均資金残高が約50億円減少し、運用収入は約1,899千円減少しました。

2. 内訳

(1) 一般会計、特別会計等

① 歳計現金等

	平成27年度				平成26年度			
	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)
	(百万円)	構成比(%)			(百万円)	構成比(%)		
普通預金	1,975	21.5	395	0.020	1,552	17.4	315	0.020
定期預金	4,728	51.5	3,678	0.078	3,790	42.6	4,361	0.115
債券	—	—	0	—	1,074	12.1	415	0.039
その他	2,472	26.9	618	0.025	2,488	27.9	634	0.025
計	9,175	100.0	4,691	0.051	8,904	100.0	5,725	0.064

平均資金残高は約3億円増加しましたが、平均利回りが微減したため、運用収入は減少しました。

② 基金

	平成27年度				平成26年度			
	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)
	(百万円)	構成比(%)			(百万円)	構成比(%)		
普通預金	—	—	0	—	—	—	0	—
定期預金	10,285	80.9	8,729	0.085	9,160	62.3	10,878	0.119
債券	847	6.7	8,694	1.026	3,155	21.4	9,700	0.307
繰替運用	1,584	12.5	395	0.025	2,399	16.3	709	0.030
その他	—	—	0	—	—	—	0	—
計	12,716	100.0	17,818	0.140	14,714	100.0	21,287	0.145

平均資金残高は約20億円減少し、平均利回りも微減したため、運用収入は減少しました。

(2) 企業会計

① 水道事業

	平成27年度				平成26年度			
	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)
	(百万円)	構成比(%)			(百万円)	構成比(%)		
普通預金	249	8.1	50	0.020	285	6.9	58	0.020
定期預金	2,368	76.6	6,789	0.287	456	11.0	552	0.121
債券	47	1.5	1,803	3.836	2,814	68.1	3,989	0.142
その他	426	13.8	107	0.025	580	14.0	153	0.026
計	3,090	100.0	8,749	0.283	4,135	100.0	4,752	0.115

平均資金残高は約10億円でしたが、平均利回りが上昇したため、運用収入は増加しました。

② 下水道事業

	平成27年度				平成26年度			
	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)
	(百万円)	構成比(%)			(百万円)	構成比(%)		
普通預金	251	12.6	50	0.020	259	12.3	53	0.020
定期預金	1,420	71.4	1,824	0.128	1,070	50.8	1,259	0.118
債券	—	—	0	—	195	9.2	49	0.025
その他	318	16.0	80	0.025	584	27.7	148	0.025
計	1,989	100.0	1,954	0.098	2,108	100.0	1,509	0.072

平均資金残高は約1億円減少しましたが、平均利回りが上昇したため、運用収入は増加しました。

③ 病院事業

	平成27年度				平成26年度			
	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)	平均資金残高		運用収入 (千円)	平均利回り (%)
	(百万円)	構成比(%)			(百万円)	構成比(%)		
普通預金	305	6.5	61	0.020	529	7.9	72	0.014
定期預金	3,925	84.2	3,131	0.080	4,848	72.0	4,305	0.089
債券	—	—	0	—	1,354	20.1	720	0.053
その他	432	9.3	108	0.050	0	0	41	0.050
計	4,662	100.0	3,300	0.071	6,731	100.0	5,138	0.076

平均資金残高は約20億円減少し、平均利回りも微減となったため、運用収入は減少しました。

説明

- ・「歳計現金等」とは、一般会計及び特別会計に属する歳計現金並びに歳入歳出外現金である。
- ・「基金」とは、特定の目的のために積み立てた資金または定額の資金を運用するために設けられた資金のことをいう。本市では「財政調整基金」、「市民協働推進基金」、「福祉振興基金」等、22の基金を設けている。
- ・「債券」とは、国債、地方債、政府保証債、国庫短期証券(TDB)をいう。
- ・「繰替運用」とは、基金から歳計現金等への繰替え貸しのことをいう。
- ・「その他」欄には、譲渡性預金(1ヶ月未満)による運用及び他会計貸付金を記載している。
- ・平均資金残高＝延べ運用額÷365日
- ・平均利回り＝運用収入÷平均資金残高×100